

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」の改善見直し(案)の概要

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」は、徳島県の進むべき方向と目標を示し、重点的に取り組むべき方策を明らかにした、平成19年度から平成22年度までの4年間の県政推進の指針となるものです。

県では、計画の基本理念である「オンリーワン徳島」の実現に向けて、7つの基本目標とこれを達成するために計画に盛り込んだ各種の施策・事業の着実な推進に全力で取り組んでいるところです。

この計画の進行管理にあたり、計画をより実効性のあるものとするため、「**進化する行動計画**」として、社会経済情勢等の変化や新たな県民ニーズに即応して、毎年度必要な改善見直しを行うこととしております。

このたび、「安全・安心をさらに推進する取り組み」や、「本県の強みを活かし魅力を発信する取り組み」を中心に、平成22年度に向けた改善見直し(案)をとりまとめました。

また、計画の集大成の年として、実証実験・モデル事業を活用し、本県の強みを活かすとともに、計画の進捗を加速させることとしております。

(1) 主な追加事業等

1 「オープンとくしま」の実現

- ①住民団体や企業等との協働によるアドプトプログラムの取り組みを推進する「アドプト参加団体数」の数値目標を増
- ②新たな行政課題にスピード感を持って対応する執行体制を構築するため、「県出先機関数」の数値目標を修正

2 「経済飛躍とくしま」の実現

- ①景気回復に向けた経済・雇用の基盤強化や、誘致企業の支援強化、既存企業の体力と人材強化及び新産業の形成など「宝の島・徳島」経済成長戦略を推進
- ②農工連携の着実な推進を図るため、農工連携推進に係る教育プログラムを創設し、農業にも工業にも通じた高度な農業人材を育成
- ③中国市場の情報収集・提供や個別のニーズ対応など、本県中小企業の販路開拓を支援するため、成長著しい中国・上海市に本県上海単独事務所を設置
- ④全国有数のブロードバンド環境が整備されている優位性を活かし、大学、民間企業等と連携しながら、デジタルコンテンツ(アニメ、映像、音楽、Web等)産業の人材育成を推進

- ⑤「LED関連技術者養成講座」の円滑な運営を支援し、「とくしまLEDテクノフェロー」として県内産業界で活躍できるよう、創業支援をはじめ技術力を活かした製品開発を支援
- ⑥文部科学省の地域産学官連携科学技術振興事業を強力な推進エンジンとして、産学官連携による研究開発を促進し、「健康・医療クラスター」の形成を推進
- ⑦産学官連携による「とくしま植物工場推進検討会」を設置し、21世紀型の農業生産モデルとなる植物工場の課題解決を図り、農業分野における技術革新を推進
- ⑧「とくしまブランド戦略」を推進するため、大都市におけるPR体制を強化
- ⑨「森林整備加速化・林業飛躍基金」を活用し、森林の整備から、間伐材の効率的な生産・加工、木材利用まで一体となった取り組みを加速
- ⑩木材の需要拡大への取り組みを強化し、「公共事業での県産木材使用量」の数値目標を増
- ⑪関西圏を中心とした広範な県外市場への販路開拓を図るため、県外における「徳島すぎの家」の協力店を募集し、販売ネットワークの拡大を促進

3「環境首都とくしま」の実現

- ①県有施設への太陽光発電パネルの設置等により、温室効果ガスの排出を削減するとともに、自然エネルギーの活用や地球温暖化対策の啓発を推進
- ②省エネルギー施設・設備の導入や環境にやさしい商品の調達等により環境の保全・創造に取り組む民間企業・NPO等を支援
- ③地域特性を活かした地球温暖化対策や不法投棄・散乱ゴミ処理の取り組みを行う市町村を支援
- ④美しい海辺環境づくりを進めるため、「海岸漂着物対策地域計画」を策定するとともに、漂流・漂着ゴミの回収・撤去・処理を推進
- ⑤地域住民と協働し、海ごみの除去等を進めるため、「掃海実施面積」の数値目標を増
- ⑥環境への負荷の少ない持続性の高い農業を推進するため、化学肥料・化学農薬の使用低減や施設園芸等の省エネ・省コスト・省CO₂技術の導入に取り組む生産者を育成・支援
- ⑦農村地域の環境保全や資源を有効利用するため、「使用済み農業用フィルム(各種ビニール類)リサイクル率」の数値目標を増
- ⑧適切な森林の管理・保全を推進するため、「保安林指定面積」の数値目標を増

4 「安全・安心とくしま」の実現

- ①局地的大雨が発生した場合の道路のアンダーパス部の安全な交通を確保するため、情報表示装置を整備
- ②地震情報や津波・気象警報を音声などで瞬時に情報伝達する仕組みを構築するため、「全国瞬時警報システム（J-A L E R T）」を全市町村に整備
- ③防災意識の高揚及び防災知識の普及を図るとともに、県南部地域における災害時の円滑な防災活動を実施するため、「南部防災館」を開館
- ④震度情報を速やかに把握するとともに、地震発生時に迅速な初動対応を行うため、震度情報ネットワークを再構築
- ⑤「がん」に対する認識を深め、「がん撲滅」への一層の意識の高揚を図るため、「徳島県がん対策推進条例（仮称）」を策定し、がん対策を総合的に推進
- ⑥広く県民や防災組織等への防災啓発に役立てるため、県立防災センターにおいて、防災用品等を扱う企業等による企画展を実施
- ⑦自主防災組織に対する相談・助言や防災リーダーの育成等、自主防災組織が学習・交流する拠点として「地域防災交流センター」を整備する市町村を支援
- ⑧安全・安心な畜産物を供給するため、地域の実情に即した適正な獣医療を提供
- ⑨小児救急医療体制の充実を図るため、小児救急電話相談事業の時間帯延長を実施
- ⑩地域の医療提供体制の充実を図るとともに、地域間におけるバックアップ体制の確保を図るため、「地域医療再生計画」を策定・推進
- ⑪消費者問題に適切に対応するため、消費生活センターの設置をはじめ相談窓口の強化等に取り組む市町村を支援
- ⑫新型インフルエンザ対策として、県民への迅速・的確な情報提供、診療体制の整備、抗インフルエンザ薬の確保、ワクチン接種対応等、年間を通じた対応を推進
- ⑬健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会を実現するため、「徳島県自殺者ゼロ作戦」を総合的に推進
- ⑭ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図るため、ひきこもり対策の本県の中核機関として「ひきこもり地域支援センター」を設置
- ⑮交差点の交通事故防止を図るため、「車両用LED式信号灯器の割合」の数値目標を増

5 「"まなびや" とくしま」の実現

- ①地域や保護者のニーズに対応した子育て支援を充実するため、「預かり保育実施率（公私立）」の数値目標を増

- ②地域貢献を目指したオンリーワンハイスクールを育成するため、「オンリーワンハイスクール元気とくしまプロジェクト」を実施
- ③職業自立を目指す生徒一人一人に応じた就労支援を推進するため、特別支援学校に「就労支援アドバイザー」を配置
- ④発達障害により特別な支援を必要とする生徒の学校生活の充実及び学校不適應状態の予防改善を図るため、支援対象生徒の在籍する県立高等学校に「特別支援教育支援員（学習支援員）」を配置
- ⑤ひとり親家庭等が自立し、安心していきいきと子育てができる環境づくりを目指し、「徳島県ひとり親家庭等自立促進計画」を着実に推進
- ⑥不妊治療の経済的負担を軽減するため、「不妊治療費助成限度額」を拡大
- ⑦子育て家庭の経済的負担を軽減するため、全国トップクラスとなる「小学校3年修了まで」乳幼児等の医療費助成を実施
- ⑧コンビニエンスストアと連携して食育の取り組みを推進する「食育推進協力店数」の数値目標を増

6 「"みんなが、とくしま」の実現

- ①圏域ごとに「こども」と「女性」に関わる様々な問題にワンストップで対応できる体制整備のため、中央・南部・西部に「こども女性相談センター」を設置
- ②配偶者等からの暴力の防止や被害者の救済と自立支援を図るため、民間団体の活動を支援し、協働して地域における支援活動を充実
- ③地域の事業所の応援による子育て支援運動について、関西等での同種事業との相互利用を進め、「『Go!Go!くっつき隊応援し隊』協賛店舗等数」の数値目標を増
- ④仕事と子育て等が両立できる環境整備を進めるため、事業所における事業所内保育施設の設置等に係る課題解決を支援
- ⑤高齢者自身が生きがいをもって豊かな高齢期を創造できるよう、地域福祉を推進するリーダーを養成する「シルバー大学院における資格取得者数」の数値目標を増
- ⑥介護サービス従事者の研修等を通じ、介護サービスの質の向上を図るため「介護サービス従事者の研修参加者」の数値目標を増
- ⑦地域の住民が認知症について理解し、地域全体で認知症高齢者を支えていくための支援体制を推進するため、「認知症サポーター数」の数値目標を増
- ⑧地域に暮らすみんなが住みやすいまちづくりを進めるため、「ノンステップバス（路線バス）の台数」の数値目標を増

- ⑨活気あるむらづくりを推進するため、インターネットを活用したグリーン・ツーリズムのPRを展開し、「とくしま農林漁家民宿」の拡大を推進

7 「"にぎわい" とくしま」の実現

- ①徳島と淡路の連携を強化するとともに、徳島の魅力を広く情報発信して誘客の増大を図るため、「大鳴門橋開通25周年」の記念イベントを実施
- ②2,500m滑走路を整備した「徳島阿波おどり空港」の開港を契機として、県外からの誘客を促進するなど、空港利用を推進
- ③徳島小松島港万代中央地区において、既存倉庫群を活用した「憩いの場」や「にぎわい空間」の創出による地域振興・活性化を推進
- ④本県を代表する吉野川河口のロケーションを背景に、「新たな観光資源」として、東環状大橋（仮称）の活用を推進
- ⑤「もてなしの阿波とくしま観光基本条例」や「徳島県観光基本計画」に基づき、官民一体となって、観光振興の取り組みを推進
- ⑥本県のスポーツのあるべき姿を創造するため、平成23年度からの「徳島県スポーツ振興基本計画」を策定
- ⑦史上最大となる7000万人の入場者が見込まれる「上海万博」に出展し、徳島の魅力を発信
- ⑧先進的な医療サービスの提供と豊富な観光資源や地域食材を組み合わせた医療観光（メディカルツーリズム）を推進
- ⑨歩き遍路などの歩行者に対して快適な歩行空間を確保するため、民間活力を導入した「いやし・もてなし」施設（椅子、休憩小屋、案内板等）の整備を推進
- ⑩にぎわいを創出するため、「第10回全国障害者芸術・文化祭とくしま大会」「第44回全国ろうあ者体育大会」「第8回全国ほんもの体験フォーラム in 阿波とくしま（仮称）」を誘致・開催
- ⑪新たな「トクシマ・マチ空間」の創出を目指すため、「とくしま冬の『マチ☆アソビ』」を開催し、四季を通じたにぎわいを創出
- ⑫県民のICT利活用能力の向上に資する人材育成を図る「シニアITアドバイザー取得者数」の数値目標を増
- ⑬本県の一層の文化振興を図るため、文化の森開園20周年を記念した事業を開催
- ⑭余暇にスポーツを楽しむきっかけを創出するため、健康や環境にも好影響をもたらす自転車を活用したサイクルスポーツの普及を図る「とくしま自転車王国創造プロジェクト」を推進

(2) 改善見直し件数

基本目標	現行 主要事業数 (数値目標数) a	今回改善見直し(案)			見直し後 主要事業数 (数値目標数) a+b
		追加 主要事業数 (数値目標数) b	修正 主要事業数 (数値目標数)	見直し合計 主要事業数 (数値目標数)	
①「オープンとくしま」 の実現	60 (52)	0 (0)	0 (2)	0 (2)	60 (52)
②「経済飛躍とくしま」 の実現	88 (101)	9 (10)	6 (15)	15 (25)	97 (111)
③「環境首都とくしま」 の実現	80 (86)	4 (3)	4 (7)	8 (10)	84 (89)
④「安全・安心とくしま」 の実現	105 (119)	12 (10)	5 (13)	17 (23)	117 (129)
⑤「"まなびや" とく しま」の実現	79 (73)	4 (2)	4 (12)	8 (14)	83 (75)
⑥「"みんなが" とく しま」の実現	67 (66)	2 (2)	3 (13)	5 (15)	69 (68)
⑦「"にぎわい" とく しま」の実現	90 (98)	8 (12)	4 (13)	12 (25)	98 (110)
合計	569 (595)	39 (39)	26 (75)	65 (114)	608 (634)

※事業名、施設名の名称変更等の修正は、件数に含めていません。